

---

# ブタヲの悲劇

ごはんライス

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

ブタヲの悲劇

### 【Nコード】

N2708L

### 【作者名】

ごほんライス

### 【あらすじ】

くだらない。とにかく、くだらない！！

とあるバー「ポーク」。そこで、あるおデブでお茶目な男がバーテ  
ンダーをしていた。名を腹田太。はらたふとし人は彼のことをブタヲと呼ぶ。

ブタヲは自分もボインのためか、ボインが大好きであった。

今日もボインの客を前にどきどきしてる。

「さっちゃん。何にする？」

と言いつつ、里子のボインに釘付けである。

「原爆スクリームボンバー、ちよーだい」

「わかった。夜兎ちゃんはとうする」

里子の隣に座っていた夜兎というボインの女子はいきなり泣き出し  
た。

「ど、どうしたの。夜兎ちゃん」

と言いつつボインに釘付けなブタヲ。最低のブタ野郎だ。

「ライス先生が。ライス先生が」

ブタヲは自分がぶたのくせに「ああ。あのぶたか」と思う。

「警察に連れて行かれたの！」

「ええっなんで」

「『小説家になるっ』というサイトでシャブを扱った小説を書いて」

「何ていう小説？」

「ブタヲの悲劇」

ブタヲはなんかいや予感がする。里子がポケットから怪しい粉を出  
したのだ。

「あわわ。さっちゃん」

「ブーちゃん。うけけけ。ぶっ飛ばっよ」

「あわわわ。やばい。やばいよ」

ででーーーん。

「里子、夜兎、ブタヲ、アウト」

バーのドアを蹴飛ばし、警官が数人どたどたと乱入してきた。

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能たんのうしてください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n2708/>

---

ブタヲの悲劇

2010年11月1日04時49分発行